

授業科目 臨床栄養学II

【担当教員名】 山本通子	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】  
臨床栄養学Iで学習した諸疾患の理解を更に発展させるとともに、3年後期の臨床栄養学実習II(臨地実習)にむけて、実践的食事療法の理論を学ぶ。  
同時に、関連する科目で学習した栄養アセスメント法や食品成分表の用い方など、臨床栄養の実践に不可欠な知識と技術の応用力を養成する。

【学習目標】

- ・ 栄養アセスメントの概略を説明できる。
- ・ 栄養補給法の種類、特徴、適用について説明できる。
- ・ 主要疾患の治療食の理論を病態との関連において理解する。
- ・ 臨床栄養の実践に必要な知識と技術の応用力を身に付ける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	高血圧症と食事		講義、VTR、学生による課題発表
2	動脈硬化症、心疾患と食事		講義、VTR、学生による課題発表
3	栄養アセスメント(1)		講義、VTR
4	栄養アセスメント(2)		講義、VTR
5	低栄養、栄養失調と食事		講義、VTR
6	栄養補給法		講義、VTR
7	高齢者および呼吸器疾患患者と食事		講義、VTR
8	神経・筋肉疾患、骨・関節疾患、歯の疾患と食事		講義、VTR
9	術前・術後の栄養管理、検査食、その他		講義、VTR
10	食物が関与するアレルギー疾患		講義
11	鉄欠乏性およびその他の貧血		
12	臨地実習に必要な知識の補足		講義
13	臨地実習に必要な知識の補足		講義
14	臨地実習に必要な知識の補足		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に指定しない。			
参考書	「臨床栄養学 I」	鈴木博他	建ばく社	2003年 ¥3500
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席状況、簡単なレポート提出、小テスト、課題の発表、定期試験を総合的に評価	【履修上の留意点】 講義内容・形式とも、臨床栄養学(I)の続き。同時期に行われる臨床栄養学実習(I)とも関連させて、自分なりに知識から実践への流れをつかむことが重要。
---	--